

令和七年度

第九回 富士宮市景観賞



最優秀賞 そばきり梶原

富士宮市

令和7年12月15日

最優秀賞

そばきり梶原

所在地：青木598-2

設計者：工房西ふじ

そばきり梶原は、元はホルスタイン牛を飼育する牧場であった土地を利用し開業した蕎麦屋です。

牧場時代の牛舎をイメージしてデザインされた店舗は、周辺の田園風景と富士山眺望に馴染むよう、すべて自然素材のもので作り上げられています。

のどかな風景との一体感と店内の大きなfix窓からの雄大な富士山眺望が高く評価されました。



優秀賞

まちなみ・うるおい部門

江戸屋本店

所在地：宮町3-2

設計者：株式会社 設計領域

浅間大社前に位置する江戸屋本店は、創業150年を超えるパン屋です。建物は門前町に相応しい、切妻屋根の落ち着いた外観で、大部分を平屋としてボリュームを抑えつつ、3つの屋根が連なって周辺の街並みと調和するデザインとなっています。

多くの人を引き込む魅力的な開放感のあるデザインが評価されました。



©Norihito Yamauchi

優秀賞

潤井川せせらぎ公園の会

活動場所：黒田74-2地先

潤井川せせらぎ公園の会は、黒田区を流れる潤井川の川辺に、区民が憩い親睦を深める場を創出するため、平成9年の区民による桜の植樹以降、河川敷の清掃活動をしています。

有志が集まり毎回7人から20人ほどで年4回の草刈りやゴミ拾いを行っています。

猛暑の中でも活動を継続できるよう自動草刈り機を導入するなど、工夫をしている点が評価されました。



静岡県景観賞最優秀賞

特別賞

富士箱根伊豆国立公園田貫湖富岳テラス

所在地：佐折地内

事業主体：関東地方環境事務所

設計者：景域計画株式会社

環境省が再整備した田貫湖畔に位置する富士山を望む展望テラスです。

富士山を真正面に望めるように展望デッキの眺望軸線を富士山山頂に合わせ、「逆さ富士」の魅力をよりダイレクトに感じられます。また、テラスを湖畔になだらかにつなげ、地形の一部となるよう設計し、周辺の環境を体感できるよう工夫がされています。

デッキ材は地場産の富士ヒノキの小節を用い、シンプルながらも温かみのある空間となっています。



©Photo by Ryo Yahara

奨励賞

富士山リトリートMUKUten.舎富士宮

まちなみ・うるおい部門

所在地：宮町5-34

設計者：株式会社リビングディー第一建設
株式会社エトルデザイン

MUKUten.舎は、富士宮市を象徴する富士山本宮浅間大社と富士山世界遺産センターの間に、ひっそりと佇む一棟の宿です。建物のシルエットは富士山の稜線に呼応する切妻屋根を描き、静岡県産檜材を用いた内外装が周囲のまち並みに自然に溶け込んでいます。

周辺のまちなみに馴染みつつモダンでお洒落なデザインが評価されました。



奨励賞

山宮浅間神社総代会

景観づくり活動部門

活動場所：山宮740

山宮浅間神社は、1900年以上の歴史を誇り、富士山本宮浅間大社の起源となる神社で富士山世界遺産の構成資産にも登録されています。

山宮浅間神社総代会は神社の歴史と伝統を守るため、清掃や遥拝所の眺望保全のための伐採活動、年2回の祭り及び正月の準備を行っています。

構成資産を守り美しい景観形成に寄与している点が評価されました。



奨励賞

エキマエChallenge House CHILL IN

景観づくり活動部門

設置場所：中央町7-15

設計者：株式会社ブルーストラクト

株式会社ブルーストラクトがデザインしたCHILL INのロゴは、地元間伐材を用いた施設の室内空間や立方体の家具のデザインに合わせ、正方形を組み合わせたものとなっています。

ブロックを積み上げたような字形が、若者の創造を支援するという施設の目的を表現しつつ、シックでシンプルな広告物デザインが評価されました。



奨励賞

芝川花そう会

景観づくり活動部門

活動場所：芝川地区（9支部）

活動46年目を迎える芝川花そう会は、芝川地区の9支部約110名で構成され、市内の公共施設やJR芝川駅などで花の苗の植え替えをして、年間を通じて美しく個性的な花壇で彩る活動をしています。

小学生への花壇づくり指導や中学生と花の苗の植え替えを行うなど、景観づくり活動を次世代へ継承している点が評価されました。



奨励賞

森とアトリエ

まちなみ・うるおい部門

所在地：大鹿窪1404

開業時期：令和6年7月

森とアトリエは、地方と東京をつなぎ、移住定住を促進、関係人口を増やしていく活動をしています。築200年ほどの歴史を持つ古民家「柚子里庵」では、企画展や貸しスペースでの教室、マルシェなどを開催し、作家やデザイナーの作品や人の交流の場となっています。

古民家を活用し、里での暮らしの素晴らしさを伝える地域のシンボルとなっている点が評価されました。



●芝川花そう会(9支部)

第9回 富士宮市景観賞について

概要

富士宮市景観賞は、優れた景観の形成に貢献しているまちなみ、建築物、屋外広告物、広場、水辺、森林、農地等及び活動団体を表彰し、その内容を広く公開することで、景観に対する市民意識を高め、本市の美しい景観づくりに寄与することを目的に、1年おきに開催しています。

募集対象

市内で優れた景観の形成に貢献しており、道路などの公共の場所から見ることができ、人が何らかの関わりを持って形成されているまちなみ、建築物、屋外広告物、広場、水辺、森林、農地等及び活動団体

募集部門

まちなみ・うるおい部門

❑ 歴史、文化を残しているまちなみや、地域の個性と魅力が活かされているまちなみ、背景となる山や川等と調和しているまちなみ

❑ 周囲の環境と調和して景観を引き立たせている建築物、新たな景観資源となるシンボリックな建築物

❑ 緑化や広場の創出、水辺、森林、里山、屋敷林や農地の活用・保全などで、水と緑、自然を活かした魅力的な景観を創り出しているもの

❑ まちかどや集落の小空間を利用してうるおいを創出しているもの

❑ 周囲の環境と調和し、意匠・色彩・素材などの表現が優れた屋外広告物、工作物など

富士山部門

❑ 富士山を引き立たせる風景を創出して利用・管理されている農地や森林

❑ 富士山の景観と調和した建築物、屋外広告物など

❑ 富士山の景観を守り、育てていくための活動

景観づくり活動部門

❑ 良好な景観形成に寄与する活動や市民に親しまれているイベント、まちづくり活動などで、魅力的な景観を創り出しているもの又は景観上好ましくないものを取り除く活動

表彰基準

最優秀賞・優秀賞
特に優れているもの（対象の所有者等又は団体及び設計者）に対し、富士宮市長から「最優秀賞」「優秀賞」を授与します。（原則として最優秀賞1件、優秀賞2件）

奨励賞
「最優秀賞」「優秀賞」受賞地区以外で以下のいずれかに該当するものに対し、富士宮市景観審議会会長から「奨励賞」を授与します。
・5年以上活動を継続している又は今後の活動が期待できる団体等
・周辺との調和を図りつつも、固有の特性や持ち味を有する建造物の所有者等及び設計者
・市内の新たな景観を独自の視点で発掘した者

特別賞
富士宮市景観賞実施年の前年度及び前々年度の静岡県景観賞受賞地区に対し、富士宮市景観審議会会長から「特別賞」を授与します。ただし、最優秀賞及び優秀賞受賞地区を除きます。
※まちなみ等、表彰対象物の関係者が複数となる場合も総じて1件を表彰します。

審査

応募件数
9 件（募集期間：令和7年5月 1 日～令和7年 7 月31日）

審 査
令和7年度第1回富士宮市景観審議会（令和7年9月18日開催）における審査を経て、最優秀賞1件、優秀賞2件、奨励賞5件及び特別賞を決定しました。

審査委員

審査委員（富士宮市景観審議会委員） 委員名簿					
委員長	天野 光一	日本大学理工学部まちづくり工学科 非常勤講師	河原崎利光	富士宮建設業協同組合	理事長
	大久保あかね	静岡県立大学経営情報学部 教授	川本 英知	富士宮緑化事業協同組合	理事
	加藤 幸枝	有限会社クリマ 代表取締役	河村 千文	富士宮商店街連盟	
	関 文夫	日本大学理工学部土木工学科 教授	石川 貴啓	静岡県広告美術業協同組合	富士宮支部
	渡井 正二	郷土史研究家	椎野 修	静岡国道事務所	所長
	藁科 元成	富士宮市区長会連合会 副会長	光永 健男	富士砂防事務所	所長
	木下 富之	富士宮市域自然調査研究会	佐藤 雅史	富士土木事務所	所長
	渡邊 和彦	富士宮美術協会 会長	深野智恵子	富士農林事務所	所長
	西井戸範夫	一般社団法人富士建築士会 評議員			

（順不同、敬称略、審査日時点）